



～ 校訓 ～



# よく や 沃 野



## 第10号

発行者：校長 宮良 健  
みやら けん

日 曜	9月 行事予定
1 金	・人権の日
2 土	
3 日	
4 月	・職場体験出発式(放課後) ・学校評議員会
5 火	・職場体験1日目
6 水	・職場体験2日目
7 木	・職場体験3日目 ・中3高校入試説明会(放課後)
8 金	・職場体験まとめ56校時 ・中2修学旅行説明会(放課後)
9 土	
10 日	
11 月	・授業参観日 ・教育相談旬間～22日
12 火	
13 水	・スピーチ集会⑥・校長講話④
14 木	・基礎力テスト⑧(1社2理3国) ・中12高校入試説明会(放課後)
15 金	・筏下り事前準備
16 土	・筏下り(本番)
17 日	・家庭の日
18 月	・敬老の日
19 火	・振替休日(筏下り)
20 水	・ALT来校
21 木	・基礎力テスト⑨(1国2数③理)
22 金	・弁当の日
23 土	・秋分の日
24 日	
25 月	
26 火	・スクールカウンセラー来校
27 水	・生徒会活動日
28 木	・基礎力テスト⑩(1理②英③数)
29 金	・英検②
30 土	・上原小運動会



暦の上では「立秋」ですが、連日、暑い日々が続いております。保護者・地域の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育の御支援と御協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、本日より2学期がスタートいたしました。年間を通して一番長い学期(82日間)です。時間も有効に活用し、生徒も教師も日々成長していければと思います。

さて、始業式の中で「気持ちを引き締め先輩達と頑張りたい(中1)」「修学旅行もあるので社会のルールを意識したい(中2)」「先輩らしい姿を見せたい(中3)」「学校行事を楽しもう(中3)」一人ひとりが積極的に行動していきましょう(生徒会)」という決意の言葉がありました。生徒の皆さんには、ぜひ有言実行をしてほしいです。

2学期は「職場体験学習」「筏下り」「地区陸上大会」「修学旅行」「石垣中へ交流学习」「体育祭」「中文祭」といった行事があります。行事を通して共に成長できたいと思います。これからも保護者・地域の皆様の御支援と御協力をよろしく願います。

# 2学期のスタート

「先ずは自分から変わろう」

変化を恐れず進化する！

自分自身をアップデートしよう♪

### VUCA時代において、15の島立ちを迎えるために

**竹富町立 船浦中学校 の 最上位目標**

自ら考え、判断し、言動できる人  
～ 自分らしく あなたらしく ～

(1)みとめ合います = **尊重**

(2)互いを尊重します = **協働**

(3)みんなとします = **進歩**

(4)自分がします = **進化**

**エージェンシー (Agency)**

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力のこと。  
→「当事者意識」「主体性」

- 与えられる人から、**自ら学ぶ人へ**  
→ 人がいなくても、自学できる能力を!
- 指示待ち人から、**自ら言動する人へ**  
→ 人に言われなくても、自ら発言・行動できる主体性を!
- 誰かのせいにする人から、**当事者意識のある人へ**  
→ 自分も責任ある学級(社会)の一員だという意識を!

日	曜	10月 行事予定
1	日	・地区陸上大会
2	月	・振替休日（地区陸上大会）
3	火	
4	水	・読書月間OP集会
5	木	・基礎力テスト①（1数2社3英）
6	金	・人権の日
7	土	
8	日	
9	月	・スポーツの日
10	火	・授業参観日⑥ ・PTA美化作業
11	水	・スピーチ集会⑦ ・生徒会活動日
12	木	・基礎力テスト②（1英2国3社）
13	金	
14	土	・県陸上大会
15	日	・家庭の日 ・竹富町童話お話し意見発表大会
16	月	・中2修学旅行～20日
17	火	・中3学力調査～18日 ・中1石垣中交流学习～18日
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	・おきなわ地域教育の日
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	・スピーチ集会⑧
26	木	・基礎力テスト③（1社2理3国）
27	金	・体育祭事前準備
28	土	・体育祭（本番）
29	日	
30	月	・振替休日（体育祭）
31	火	

# 令和5年度 沖縄県・八重山地区・竹富町の重点事項

## 重点1 自立した学習者の育成

本県児童生徒が自立した学習者として主体的に学習に取り組み、自分自身の力で学びを獲得するよう、学習観の転換を図りたい。そのための取組として、以下の取組を推進しましょう。

取組1 「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業の推進

取組2 自立して学ぶ児童生徒の育成に向けた「自学自習力」の育成

取組3 ICTの活用等による「個別最適な学び」の推進

## 重点2 中学校期の学力課題の改善

全国学力・学習状況調査において、中学校は年々その差を縮小しているものの、未だ全国平均には至っていません。中学校期の学力課題の克服に向け、以下の取組を推進しましょう。

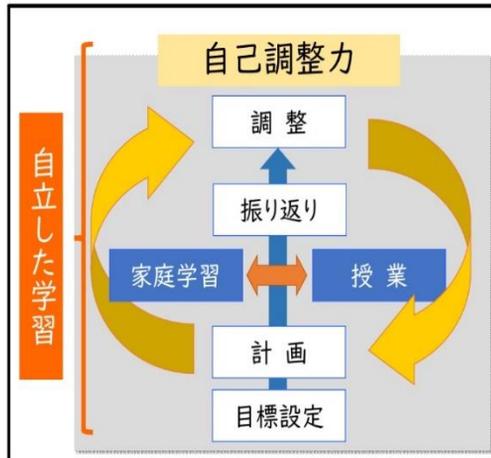
取組1 特定の教科等（道徳科、特別活動、総合的な学習の時間 など）の授業研究に全職員で取り組む組織的授業改善

取組2 児童生徒の成長を捉え、次の学びに生かすテスト改善

生徒を「自立した学習者」として育成するため、学びに対する主体性をさらに高める必要があります。そこで「『問い』を持ち、主体的に学ぶ授業の推進」を取組事項とし、問題解決への意欲と創造性にあふれ、生徒が「わかった!」「おもしろい!」と思えるような授業づくりを目指します。

また、その育成には、生徒の学習観を転換することが必要です。「問い」をもち、主体的に学ぶ授業を推進することによって、生徒の学習観を「教えてもらう」「正解に至ればよい」「失敗したくない」という意識から、「問いを持って自分で考える」「見通しを持って粘り強く取り組む」「周りの人たちとともに考え、学び、新しい発見や豊かな発想を生む」という意識へと転換を図ることが大切です。

学びに対する主体性を、生徒の学びの自立に繋がりたいです。そのために、生徒一人一人が「なりたいたい自分」を意識しながら、身に付けたことを家庭学習に生かす、家庭で学んだことを授業に生かすという自学自習の学習サイクルを持つようすることが大切です。



### 「自立した学習者」の学びのイメージ

社会的自立へ

